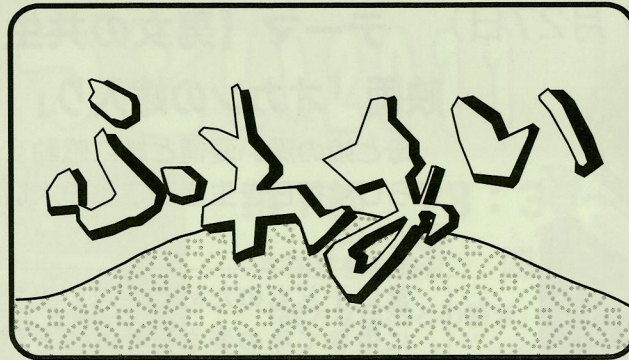


いろんな人と人とのつながり、
ふれあいを美浜のMと波で
イメージしました。



美浜町人権尊重啓発協議会会報

第46号

発行:平成23年11月22日
(年3回発行)

編集:人権協広報調査部会
連絡先:美浜町生涯学習課

TEL 32-6709

FAX 32-9032

E-mail: jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp

町民文化祭 人権協コーナー

ハートの実のなる木

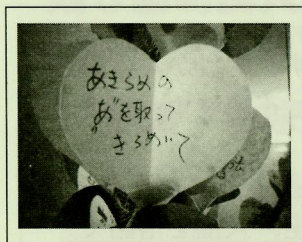
皆さんの心温まるメッセージで、たくさんのハートを実らせました。



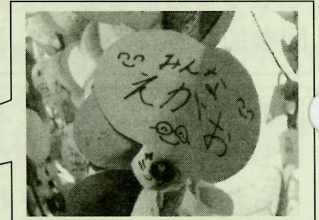
ちょっとさみしい最初の状態

10月29日～30日に総合体育館で開催された町民文化祭で、今年も「人権協コーナー」を開設しました。

今回は、今年度で開催した町民人権講座のパネルや昨年度のふれあい人権作品の入賞作品を展示しました。その他にハート型のカードを作り心温まるメッセージを書いて木にさしていく「ハートの実のなる木」や人権迷路などを実施しました。



ハートの実がいっぱいになりました。



切り取ったハートにメッセージを書いています。



毎年、人権協コーナーを訪れて下さった皆さんが気軽に参加でき、皆さんの作品が集まって一つの物ができあがる内容を考えて実施しています。人と人とのつながりを意識し、みんなの手が加わった温かさを感じてもらえたらうれしいです。

第3回町民人権講座(7月27日) テーマ【男女の共生】



映画「オカンの嫁入り」

母と娘の深い愛情と絆に感動するとともに、お互いが自分らしく毎日を生きていくことの大切さを感じさせてくれた映画でした。

常に子どものためにと思い生きているが、自分のために生きてその姿を見せることが大事なのだと思います。

母娘の何とも言えない関係と周りの人達の個性も光っていてとても良かったです。やっぱり普通の日常の大切さを大事にしたいと思いました。

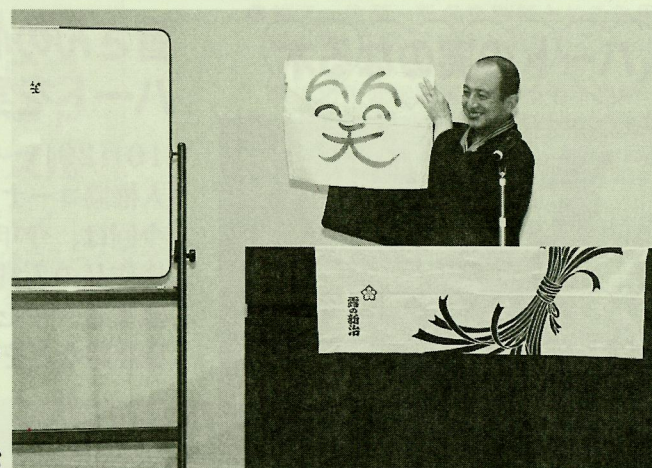
第4回町民人権講座(9月27日)

テーマ【人権・同和問題】

『新ちゃんの人権高座』

～笑顔でくらす、願いに生きる～

落語家 つゆ しんじ 露の新治さん



笑いがある中、「『願がんばい』に『生きる』と書いて『願生がんばる』」「自分が差別をなくす側に立てるか」など、改めて人権・同和問題を考えることのできたお話でした。

今日お話を聞かせていただいて、「自分の人生 自分が主役」ととてもいい言葉です。明日からは自じしん心をもって自信をもって願生がんばって生きていきたいと思いました。本当に今日参加できて正解です。過去2回参加できなかったことを残念に思います。ありがとうございます。

講演を通して、ずっと北山先生のことを思っていました。人権協の事業が続く限り、先生のされてこられたことが活かされていきますね。あの笑顔をいつまでも忘れません。

北山校長が創り上げた人権講座、人権を落語で…のルール。今更ながらに偉大な先生のご逝去が悔しいと感じました。北山先生のお陰で、今日の話が聞けました。ありがとうございます。



9月28日には、美浜中学校でも「自分の人生、自分が主役 ～バイバイ！コンプレックス～」と題して全校生徒に向けてご講演いただきました。皆さんは「宝の子」であること、「差別」には「加差別」「自分差別」「被差別」とあること、自信＝自じしん心を持つこと（缶詰のパイナップルの様に芯をくり抜かれ個性なく上下ばかり気にするのではなくて…）など、笑いを交えながら核心を突いたお話を分かりやすくして下さいました。

今日のお話を聞いて、校長先生が私たちに聞かせたかった理由が少し分かった気がします。他の人と比べていろいろな差別をするのではなく、自分のコンプレックスを受け止めて前向きに生きることが大事なんだと思いました。もうすぐ受験があるし、自分の人生、自分で決めていかなければならないと思いました。これからは他人を差別するのではなく、自己変革をしていきたいなと思います。少しずつでも努力し、「願生がんばる」。とてもいいお話だったし、すごくおもしろかったです。ありがとうございます。

人権のつどい2011

12月10日(土)

ところ：はあとぴあ



第1部 13:30~14:30

中国琵琶演奏者 ^{えんき} 閻杰さん (中国琵琶公演会)

「雄大な自然との響き」

中国大連市生まれ。三宅一生のファッションショーで東京とパリで演奏するなど、多彩な活動を展開。2005年世界22カ国が参加した第5回大阪国際室内楽フェスタで銀賞を受賞。

第2部 14:40~15:40

JET日本語学校 理事長 ^{きん びれい} 金美齢さん (講演会)

「21世紀の提言 新しい時代を育てる」

台湾の民主化が進んだ後、台湾総統府国策顧問に任命(2000年-2006年)される等、台湾そして日本への強い影響力を持つようになる。筋金入りの「闘士」「戦士」としての姿、そこには実体験から生まれた確かな主張がある。その凜とした生き方は、多くの人に勇気と元気を与えている。

※会場では、要約筆記(スクリーンに講演の要約が流れる)があります。



第5回町民人権講座(10月13日)

テーマ【環境】

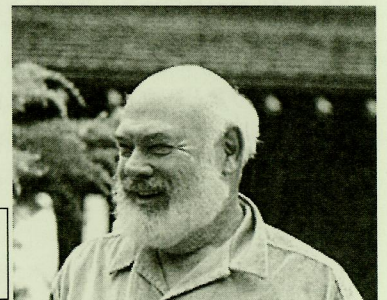
ガイアシンフォニー
映画『地球交響曲 第七番』



グレグ・レモンさん



高野孝子さん



アンドルー・ワイルさん

ストーリー

これまで何度も北極圏を旅してきた高野孝子は、アラスカやカナダの先住民の古老たちから学んだ知識を静かに語る。そしてツール・ド・フランスの元チャンピオンであるグレグ・レモンは、自転車での紀伊半島縦断の旅で自らの半生を振り返る。一方、統合医療の第一人者であるアンドルー・ワイルは、古来から伝わる自然治癒力の尊さを説く。

映像が綺麗で、子供の頃に見ていた風景を思い出しました。最近の普段の生活では、辺りの風景(自然)を見ているようで見ていないのかもしれませんが。人の生き方は自然を基準に考えていかないといけないのだろうけれど、現代の生き方は、それを見失ってしまっているようです。心が楽になる内容でした。

「人として大切なことは、自然の中に入ればわかる」という言葉が印象に残りました。これは難しいことではなく、海と山に囲まれた美しいこの地で、舗装された道路を走ることも、自然の中に入ることになると思いました。朝、外を走り始めて元気になった理由が分かる気がしました。

こえ 声 こえ

「ふれあい」第45号をお読みにになった読者の方より、おたよりが寄せられましたので一部を紹介します。

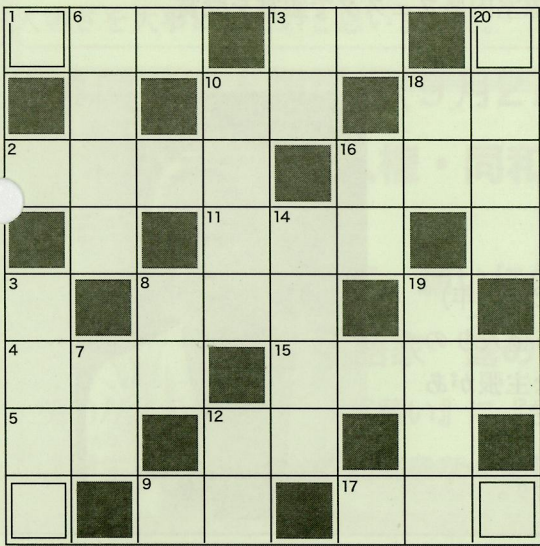
○コラムや編集後記などを読み、被災地での活動を知り、TV・マスコミでしか知る事が出来ない私たちでも、現地の雰囲気伝わってきました。報道は原発問題ばかりで、被災地の現状が分からなくなっていたので、「ふれあい」のような、実際ボランティアに行かれた方のお話を読む事が出来、是非こういう記事をもっと増やしてほしいと思いました。【久々子 Tさん】
○やはり一過性に過ぎなかったのか。と残念に思う。地域でもその当時は募金だの水だのおむつだのと一生

懸命だったけれど、今は…。自分自身もその意識は薄れていた。はっと思われる記事だった。

【河原市 Yさん】

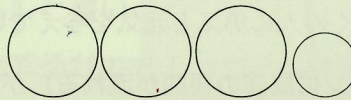
○「ふれあい」や人権講座を毎回楽しみにしています。映画や落語の企画、今から首を長くして待っています。編集後記のバックが灰色なので、字が読みづらく、「たより」と同じ色にしたらどうでしょうか。

【郷市 Tさん】



人権 クロス ワード パズル

二重わくの中に入った文字を使ってできる言葉が答えです。



■応募方法■

- 答え・住所・氏名を別紙とじこみ用紙に書いて下記までお送り下さい。
〒919-1192 美浜町郷市25-25 美浜町生涯学習課内 人権協事務局
- 〆切は、平成23年12月26日(月)です。
- 正解者の中から抽選で5名の方に、図書カードをお送りします。
- なお、前号の「人権クロスワード」の正解は、「て(を)つなごう」でした。当選者は次の皆様でした。おめでとうございます。

中 高 さ き 子 さ ん (興道寺)
山 崎 竹 子 さ ん (太田)
山 口 享 子 さ ん (河原市)
鳥 居 詩 さ ん (久々子)
田 辺 緑 さ ん (郷市)

よこのカギ

1. ニワトリの肉のこと。「黄鶏」とも書く。
2. 「雀斑」と書く、皮膚に出来るシミのこと。
4. 地の厚い毛織物で、ビリヤードのクロスなどに使用されている。
5. 小さく、簡単なつくりの建物。
8. 野菜などを塩や酢、マヨネーズなどで和えて盛り付けた料理のこと。
9. 松などの樹皮からとれる、粘り気のある液体。
10. 屋根の材料にもなるイネ科草本の一群のこと。
11. ゴルフで使用する、Tのような形をした道具。
12. ジュースなどを入れている器。スチールやアルミで出来ている。
13. 薪割りなど、木を切るために使われる道具。
15. 地震や雷など、自然による災害のこと。
16. 文章などで中心となる事柄・意味のこと。
17. 眉と眉の間の部分。
18. 缶詰のパイナップルでは、これがくり抜かれています。

たてのカギ

3. 江戸時代、子どもに勉強を教えたところ。
6. 「尽」「尾」「屋」の部首は？
7. 目で見える範囲のこと。
8. 刀などの刃の部分を含む覆いのこと。
10. ポルトガルから伝わった、長崎名物のお菓子。
12. 冬の味覚。硬い甲羅、ハサミに横歩きが特徴だが、種類によっては縦に歩くものも存在する。
13. 1親等の血族で、自分よりも年上の人。
14. 古代インド神話の神。とても足が速い。
16. 「丸一下=n」「丸一上=U」の時、丸一右=?
18. 人は周りの環境によって影響されるといった諺「〇〇に交われれば赤くなる」
19. 江戸時代における尾張家、紀伊家、水戸家のこと。
20. 心臓内部の、下半分のこと。右〇〇〇〇と左〇〇〇〇がある。

設立から十五年たち、「人権協」という名称は町民の皆様にはいふん知られるようになった。ありがたいことである。

ところで、正式名称はご存知だろうか。本紙の表紙にもあるが、「尊重」という一語が入っている。「推進」と銘打つ組織はよくあって、「推し進める」という意味だろうか。それに対し、人権協は「大切に」といったところか。

人権協の立ち上げ当時、その苦労は大変なものだった。名づけの生みの苦しみとともに、少しかかわった一人として記憶に残っている。

中国の格言に「水を飲むときには井戸を掘った人を忘れない」というのがある。

人権協設立に尽力された先達の一人、北山法夫さんが若くして急逝された。人権尊重にかけた北山さんの思いを引き継ぎ、人権協を大切に育てていきたい。

編集後記